**【住宅政策所管課用】**

**国土交通省　空き家対策の担い手強化・連携モデル事業**

**空き家等の福祉的活用に関する調査票**

　　　　　　　　　　　　　　**市町村名**

* **お尋ねした項目に関係する資料が既にある場合は、各項目に記載せず、資料のコピーを同封していただくことで構いません。**

**１　空き家対策の状況について**

（１）貴自治体の空き家（空き店舗・空き室を含みます）対策の状況について教えてください。

　（貴課で把握する範囲で、**該当する全ての項目の番号に〇を付けてください。）**

１ 地域住民の活動拠点の開設に改修費など整備費用の補助金を出している。

２ 地域住民の活動拠点の運営に補助金を出している。

３ 福祉サービス事業者に改修費など整備費の補助金を出している。

４ 福祉的活用のための改修費などに金融機関による低利融資の斡旋などをしている。

５ 空き家・空き部屋の情報を必要とする福祉サービス事業者に提供している。

６ 空き家・空き部屋を住宅確保要配慮者に斡旋している。

７ 空き家・空き部屋の所有者からの活動拠点（サロンなど）づくりの相談にのっている。

８ 関係団体（不動産業、まちづくり組織など）と連携の体制を構築している。

　　体制の概要（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

９ 都府県の居住支援協議会の活動に積極的に参加している。

10 市町村単独の居住支援協議会を設置している。

11 空き家バンク等、利用可能な空き家の情報を収集、発信している。

12その他

（２）貴自治体の空き家対策で、特にその利活用に効果が上がっていると思われる取り組み、課

題となっている事項を教えてください。

　　 ア　効果の上がっている取り組み

　　 イ　課題となっている事項

**２　空き家等の活用について**

　　※　この調査では、「福祉的活用」や［地域包括ケア］には、高齢者や障がい者、住宅確保要配慮者などに限定した事業だけでなく、広い年齢層が交流したり、健康づくり、生きがいづくりのほか、地域で安心して暮らせる環境づくりや活性化などに役立つ取り組みなどを含め、広く特徴的な取り組みを把握したいと考えています。

（１）施策の状況

ア　空き家等を福祉に活用する施策はありますか。（ひとつに○を付けてください）

　　　　　１　福祉に活用することに着目した施策を掲げている。

　　　　　２　施策はないが、福祉関連部署と連携をとっている。（紹介、相談、斡旋など）

　　　　　３　特に福祉への活用に着目はしていない。

　　　イ　上記１「施策あり」とお答えの場合、その内容を教えてください。

（事業名、予算額、若しくはその内容をご記載ください。別添資料でもかまいません）

（２）これまでに、空き家等を福祉に活用した以下のような事例（a,bどちらも含みます）がありましたら、特徴的なものについて**個票１**に記載してください。

また、もしおわかりでしたらそれぞれ概数として何件くらい成立したかお知らせください。過去５年間で、**a**:（　　　　）件　**b**:（　　　　）件

　　**ａ**　利用者を限定せず、近隣市民が比較的自由に利用する場や、その活動を運営するスタッフの事務所（＝拠点）に活用。（例：高齢者や障がい者のサロン、カフェ、交流スペース、子どもの居場所、子ども食堂、習い事の場所など）

**ｂ**　高齢者や障がい者の施設やグループホームなど、利用者が比較的決まっている場所として活用。（例：グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅、シングルマザーや外国人技能実習生専用のシェアハウスや寮、セーフティネット住宅、介護施設（小規模多機能施設やデイサービス等）など）

さらに、**持続的な事業に至らなかった**取り組みがありましたら**個票２**に記載してください。

（前回調査結果はhttps://www.kanaju.org/global-data/20190423125412861.pdf）

（３）今後、空き家を活用して地域住民の福祉活動を活性化するために、どのような対策が必要と思いますか。（該当する全ての項目の番号に〇を付けてください。）

　　　　※　すでに以下のような取り組みが制度や事業として存在する場合には、その旨、その他欄にご記入の上、資料添付またはWebサイト情報などをいただければ幸いです。

１ 担当部署間の連携（住宅担当と福祉担当）がさらに必要。

２ 地域の不動産業者等の情報提供や協力がさらに必要。

３ 空き家が福祉施設の建築物として適切な条件かどうかの判断、評価の仕組み。

４ 改修し転用するにあたっての専門家、コンサルタント等の派遣。

５ 福祉事業者による空き家活用（民家やアパートの改修など）への改修費用の補助制度。

６ 地域住民のサロンなど事業収入がない場合、長期的継続的に家賃を払うための補助制度。

７ その他

**３　今後お尋ねする場合のご担当者**

　　このたびは、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

今後記載していただいた内容について、尋ねする場合のご担当者について教えてください。

　　所属部署の所在地

　　所属部署の名称

　　担当者のお名前

　　電話番号

　　e-mailアドレス

その他、空き家の福祉的活用に関して、課題、望ましい対策、ご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

**【個票１】　空き家等を福祉事業や地域の活性化に活用した先進的事例**

記載欄

　　　　　　市町村名　　　　　　　　　　　　　、　　　　部署名

　　　多くの事例を把握されている場合には、この用紙をコピーして先進的事例について５例以内でご

記載ください。

|  |
| --- |
| １　物件について |
| 拠点の名称 |  |
| 所在地　　　 |  |
| 広さ等　　　 | 築年数　　約　　年　当該用途の床面積（　　　　　　）㎡当該用途が存する建築物の構造（□木造　□RC造　□その他）　当該用途が存する階（　　）階※　詳細が不明な場合は、おおよそで。 |
| 形状の変更の有無 | □　現況のまま使用□　リノベーションを行って使用（金額　　　　　　　　　万円）　　リノベーション費用の負担者（　　　　　　　　　　　　　） |
| 利用条件 | □　所有権等の取得□　有償賃借　　　　　　　　　　　賃借期間（　　　　　）年□　無償賃借　　　　　　　　　　　賃借期間（　　　　　）年□　所有者が設置・運営□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　 |
| ２　運営について |
| 利用開始年月

|  |  |
| --- | --- |
| * 自治体
 | * ＮＰＯ法人など
 |
| * 社会福祉法人
 | * 地元町内会
 |
| * 社会福祉協議会
 | * 所有者
 |
| * 株式会社
 |  |
| * その他
 | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

 | （　　　　　）年（　　　　　）月 |
| 設置主体　 |  |
| 運営主体

|  |  |
| --- | --- |
| * 自治体
 | * ＮＰＯ法人など
 |
| * 社会福祉法人
 | * 地元町内会
 |
| * 社会福祉協議会
 | * 所有者
 |
| * 株式会社
 |  |
| * その他
 | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

 |  |
| 開設及び運営に際し、関係している団体

|  |  |
| --- | --- |
| * 地域包括支援センター
 | * 居住支援協議会
 |
| * 社会福祉法人
 | * ＮＰＯ法人など
 |
| * 社会福祉協議会
 | * 地元町内会
 |
| * 株式会社
 |  |

 | □　自治体（所管部局等　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 自治体等からの補助額等（ある場合） | 設置費補助　（　　　　　　　　）円　（　　）年以上運営を条件運営費補助　（　　　　　　　　）円／年　　開始後（　　）年間その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 活用の内容 | 1. どのような用途に活用されているか

②開設の状況（曜日、時間等）　□毎日　□週（　）回　□不定期　　（　　）時～（　　）時 |
| 開設までの経緯 | 空き家等の活用の発端活用までの調整課題現在課題となっていることなど |
| 利用状況 | 利用人数（実、延べ）、年齢層など |
| 活用に至るまでの困難点、成功したポイント | （建築基準法等の法令の制限を含む） |
| この拠点の特徴と考えられること |  |
| ３　これまでの報道、公表 |
|  | この拠点のことが、発表、報道されたことがあれば、可能な範囲でその資料を添付するか、閲覧先ＵＲＬ等を教えてください。 |

**【個票２】　空き家等の福祉事業や地域の活性化への活用がうまくいかなかった取り組み**

　　　　　　市町村名　　　　　　　　　　　　　、　部署名

空き家の福祉的な活用を図ろうとして、途中で中断になった取り組みや、整備・運用を開始し

たものの、現在までに持続的な運営に至らなかった取り組みについてご記載ください。

　　今後、解決すれば空き家の福祉的活用を促進するための課題を取りまとめたいと考えておりますのでご協力をお願いします。

事例集として一覧公表はしません。

|  |  |
| --- | --- |
| 計画の概要 | 計画した時期　　　　　年ころ　□　計画したが開設までいたらなかった　□　開設、運営はスタートしたが継続できなかった計画した内容□　福祉事業（高齢、障がい、子育て支援等の事業所　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　□　地域の福祉的活用（集いの場、Cafeなど）、　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　□　その他　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）中止（を決定）した時期　　　　　　　年ころ |
| 持続的な運営に至らなかった主な要因（複数可） | □　整備改修の資金が確保できなかった□　持続的運営のために十分な収入が得られなかった□　法令の規定に適合できなかった　□　条件に合う物件が見つからなかった□　運営してくれる人(組織)が見つからなかった、続かなかった□　関係者の同意が得られなかった（最終的な所有者や地域の合意）□　その他 |
| 空き家を福祉的に活用することについて、改善や充実が望まれることがあれば記載してください。（担当者のご意見） | □　以下に回答した内容について、団体名の公表を望まない場合には、□にチェックした上で、下に記述してください。 |